



Hemp seed Recipe

ヘンププロテインは飲むだけでなく、ちよい足しすると料理のアクセントに! 野菜のディップや、サンドウィッチに挟んで気軽にたんぱく質補給ができるメニューです。



Hemp protein

- ヘンププロテインのひよこ豆ディップ -

<材料>

ひよこ豆	1c(水煮缶の場合は1缶分)
ヘンプシードオイル	大さじ3
水(茹で汁)	大さじ2
ヘンププロテイン	大さじ2
レモン汁	小さじ1
塩	小さじ1
クミンシードパウダー	小さじ1
にんにく	少々
ヘンプシードナッツ	トッピング



<作り方>

- ①ひよこ豆は水煮缶の場合はそのままザルにあげ、豆の場合は3倍の水で20分圧をかけ茹でる。
- ②全ての材料を調整しながら、フードプロセッサーで混ぜる。
ひよこ豆の煮汁でお好みの硬さに調節してください。

仕上げにさらにヘンプシードナッツや、ヘンプシードオイルをかけるとうり一層美味しくなります。



那奈なつみ:

ヘンプシードのオリジナルレシピは100品以上、日々活かせるレシピ開発をはじめ、ヘンプフーズジャパンの広報活動も行う。著書「美肌! 美腸! やせる! ヘンプシードダイエット」(主婦の友社)

見て、知って、ヘンプシードライフを楽しむ♪旬な最新情報をリアルタイムで!

公式Facebook
<https://www.facebook.com/organichempjapan>



オーガニックヘンプ

公式Instagram
https://www.instagram.com/hemp_foods_japan



hemp_foods_japan



November, 2017 ∞ infinity vol.01

発行:株式会社ヘンプフーズジャパン
〒107-0062 東京都港区青山3-13-8 青山BRICK302
☎ 03-6434-0369
編集:那奈なつみ・遠藤なみえ
デザイン:Memorize Everything

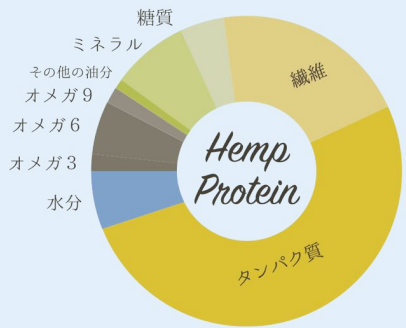
編集後記~Editor's Note

オンラインで情報が行き交う世の中ですが、ヘンプフーズが伝えたいことを、お客様ひとりひとりに直接届けていきたい、そんな想いで出来上がった1冊です。 nana

今回ジャーナル作りにも携わらせていただいたおかげで、ヘンプの魅力や可能性をひしひしと感じています。ヘンプを取り入れている方もそうでない方も、ワクワクを共有できたら本望です! namie



【不足しがちな栄養を手軽に補給】



ヘンプフーズスタッフのトリカタ

☆バナナチャイスムージー

(ヘンププロテイン+バナナ+ライズドリンク+チャイ)



スタッフ N

これを初めて作った時は美味しさにびっくり♪プロテインを美味しくいただくコツは、味のあるものに混ぜること。ミキサーがあれば攪拌することで粒が小さくなって飲みやすく！

☆ゴマだれ風なお鍋のタレ

(ヘンププロテイン+ヘンプシードオイル+練りごま+味噌+醤油)

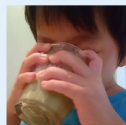


スタッフ N

こっくりしたタレで、ヘンプの香りが苦手な方でも美味しい！発酵食品との相性が良いのが◎！

☆ヘンププロテイン入り抹茶豆乳

(ヘンププロテイン+豆乳+抹茶+黒糖)



スタッフ A

黒糖はプロテインと相性がぴったり！仕上げりは子どもでも飲めるマイルドな味わい。

混ぜりにくいプロテインパウダーも小型の電動ミキサーがあれば手軽に美味しいドリンクができますよ！



開発・加工技術の進化の賜物でもあります。ヘンププロテインもその一つ。ヘンプシードに含まれているたんぱく質は、とてもバランスが取れたたんぱく質であり、同時に食物繊維、ビタミン（葉酸、ビタミンB1、B6）、ミネラル（亜鉛、鉄分、マグネシウム）、抗酸化物質が豊富なのが特長。またヘンプペプチドの効果により、植物性のたんぱく質の中でも消化吸収が優れているのも強みです。



あなたのカラダはどれだけヘンププロテインが必要？

プロテイン欲求度チェック！

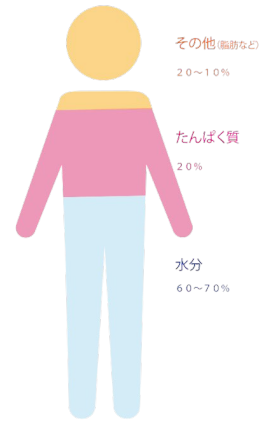
- 食事はほとんど外食だ
- たんぱく質、何から摂ったら良いか悩んでいる
- ランやフィットネスなど、体を動かすことが好き
- 最近疲れがなかなか取れない
- 便秘気味…
- 貧血気味…
- ベジタリアンである
- アスリートである
- ファスティングを取り入れている
- エイジングケアが気になっている
- オーガニック志向である
- 海外のパッケージが好き！

1〜2コ当てはまった人→オススメ度50%！今はまだそんなに必要ない？いえいえ、これからライフステージやライフスタイルの変化が必要になってくるときが必ず訪れます！頭の片隅に入れていただくと嬉しいです。

3〜5コ当てはまった人→オススメ度80%！あなたのカラダはヘンププロテインを欲しています！いつもの食事に少しずつ取り入れてみてください。きっとカラダが喜ぶのを感じていただけたらと思います。

6コ以上当てはまった人→オススメ度100%！ヘンププロテインはあなたのためにあると言っても過言ではありません！今日からは非食生活にヘンプを加えましょう。

*それぞれのチェック項目についての詳しい解説は、ヘンプフーズジャパンから発信しているブログなどでご覧いただけます。お時間ある時に是非のそぎに来てください



「プロテイン」と聞くと、スポーツをしている人や、体を鍛えている人が摂るもの、と思ってしまうませんか？プロテインとはたんぱく質のこと。たんぱく質は、糖質や脂質と並ぶ必須栄養素の一つで、水分（60〜70％）に次いで私たちの体の20％近くを占めることも重要な構成要素です。約60兆個の細胞の主成分で、筋肉をはじめ、内臓、眼、爪、皮膚や髪の毛、体液、そして骨の成長にも欠かせません。こう聞くと、たんぱく質はご自分にとってかなり大事なものだというのがお分かりいただけるのではないのでしょうか。プロテイン⇨たんぱく質を摂ることは、運動をしている人だけでなく、子どもから高齢の方まで、すべての人にとって必要不可欠なんです！

What is protein?

いまさら聞けない・・・

プロテインのイロハ

植物性たんぱく質のヘンププロテイン

たんぱく質を食品から取り入れるとしたら、肉や魚を思い浮かべる方が多いと思います。確かに野生の肉・ジビエなどは高たんぱく質食品ですが、近年はたんぱく質⇨肉・魚というその価値観も社会的な背景によって少しずつ変わってきています。一つは環境問題などによって、安心・安全な動物性食品が希少になりつつあること。もう一つは、ベジタリアンのライフスタイル志向を始め様々な理由から動物性食品の摂取に対して消極的な人が増えてきていることなどにあります。

そこで今、注目を集めているのが、「植物性プロテイン」。植物性で大豆が真っ先に思い浮かぶかもしれませんが、最近ではたんぱく質を豊富に含む原料がパウダー状に加工され、ライス・ソイなど「○○プロテイン」として流通していることは、

プロテインとはたんぱく質のこと



では、何からたんぱく質を摂ったらいいの？



マウンテンバイクプロライダーとして世界で活躍される池田祐樹さんはアスリート界ではまだ少ない、「プラントベース」(菜食中心)の生活を実践されているアスリート選手。そして奥様であり、モデル事務所の代表を務めながらも、アスリートフード研究者としても活動される池田清子さんご夫妻にお話を伺いました。

「プラントベースに出会ったきっかけは？」

Y ももとは乳製品が好きで毎日牛乳を1ℓ以上飲んで、焼肉やラーメンなども大好きだったし、普通の食生活でした。その時も適正なトレーニングをしていれば、パフォーマンスは伸びていたし、競技結果も右上り。でも、30歳を過ぎたあたりから、身体に変化があり花粉症や、喘息を発症し始めて。それでも結果は落ちなかったけれど、結局パフォーマンスと健康はイコールではないと実感したのがその頃です。アレルギーが出て一応、競技成績は伸びるけど、体の中の不調は少しずつ進行していました。そのアレルギーに悩んでいた時期にアメリカのチームメイトが基本的に肉・魚・乳製品・卵を摂らないプラントベースの食事をしていることを聞き、デトックスにも良いし、興味を湧いてきました。何より彼女の成績もがすごく伸び、体の調子も良さそうだったのが印象的でした。ちょうどその時、清子も一緒にアメリカにいたので、一緒に始めてみようと思いました、それが2014年のことです。1週間試したら肌の調子も良くなり、体の疲れにくさもなくて、続けてみようと思ったのがきっかけですね。

Y ヘンプの存在を教えてくださいましたのは、友人でもあるカナダ出身のコーリー・ウォレス選手でした。彼がヘンプシードを水に入れて飲んだり、大会が用意した食事にふりかけたり。私にとっては衝撃的でした。これまでは出されるものをそのまま食べることが普通だったけれど、それ以来、遠征には足りない栄養をプラスする「ちよい足しアイテム」を必ず持ち歩くようになりました。ヘンプパウダー・シード、ピーツパウダー、青汁など乾物系が多いですね。

S ヘンプは重要なタンパク質源の一つとなりました。プラントベースの食事を続けたことで夫は血圧が正常値になったり、アレルギー症状が改善されたり、風邪をひきにくくなったり、体の内面的な変化が現れ始めました。

Y 私の今の食生活はすごくシンプルで、素材を生かして食べることが多く、あまり調理しませんが。トレーニング中は、スポーツ用のジェルなどの加工品を取る分、普段の食事でできるだけ自然なものを食べるようにしています。トレーニングの時もオフの時も食事は内容はほぼ変わらず、量を調節するくらいです。ロードまではいかなければ、サラダもよく食べるし、加工品はほとんどなくて調理するとしても、蒸したり、焼くだけです。調味料もほぼ使わないで、使うとしても少しの醤油や塩コショウくらいです。

S だからこそ調味料は本物、昔ながらの製法で作られたものを使いたいですね。



LIFE with HEMP SEED

ヘンプシードのある生活 vol.1



Y 南国などで開催されるレースとかだと、生ものにも注意しないとイケなかったり、食あたりのリスクも考えないとイケません。特にレーサーは連日極限まで追い込んでいる分、免疫機能がすごく低くなっているんですよ。サポートしている清子は同じものを食べているのに、レーサーだけお腹を壊したり、ちよつとしたことで不調になりやすいんです。レース以外のこういった部分にも気を使わないといけません。

S いつもと違う環境で戦わないといけない時はいかにその環境に順応するのかも勝負の分かれ道だと思います。そういう時に少しでも安心できる食事を用意しておくだけで、ストレスが軽減されるので、できる限りいつも食べているものに近づけてあげたいなと思っています。安心できるお守りみたいな存在でもありません。

Y しかし、環境的に出されたものしか食べられない状況もあるので、その時はストレスをためないで食べています。

S 以前私はマクロビオティックの食事を実践していたので、植物性の食材だけで献立を組んだり調理したりすることに抵抗はありませんでした。そして結婚と同時にアスリートフードマイスターの資格を取り、栄養の基礎知識を学びました。基本を学んだ後は実践と応用が大事だと感じ、海外レース遠征に同行した際はトップライダーがどんな食生活をしているのか、積極的にインタビューさせてもらいました。そういった中でプラントベースを実践している選手も数名いました。

Y プラントベースの食事を続けると、最初の2、3ヶ月くらいで花粉症が出なくなりました。喘息も3ヶ月くらいでほぼ完治して、その年の夏に植物性の食事のみで臨んだアメリカの1000マイル(160km)レースでも優勝して、約8時間スタミナが切れることなく全力で戦えました。これらの成功体験は自分の中で衝撃でした。また動物性中心の食生活に戻ったら、花粉症や喘息が再発してしまう不安もありました。あの苦しみを考えると、あんなに大好きだった乳製品も自然と欲しくなくなりましたね。人によって反応は違うと思いますが、プラントベースは私の身体にとっても合っていました。

S 単に動物性食品を食事から抜いただけでは、やっぱり足りない栄養素も出てくるので、プラントベースを実践しているチームメイトや他のアスリートから正しい情報を集め、自分たちでも積極的に勉強しました。そこで既にスーパーフード「ヘンプ」と出会っていたのも本当に良かったと思います。

「これからチャレンジしたいこと」

Y オリンピック競技種目のクロスカントリーで2020年、東京オリンピックを目指したいと思っています。今自分がやっている長距離よりも短い距離の種目ですが、ソフトチャレンジしてチャレンジするつもりです。2020年私は40歳になりますが、10、20代の勢いある子選手たちと、切磋琢磨してオリンピックの出場を勝ち取りたいですね。

そして、出場するだけが目標ではなく、結果も残したいと思っています。

S でも実は次なる目標を見失いかけていたんだよね。

Y 今シーズン前半はかなり暗黒の時を過ごして、身体の調子は良いのに結果は出ないしモチベーションも上がらないし。





東京 恵比寿でヘルスコンシャスな人たちが集まる場所といえば、ここ、マルゴデリエビス！名物の沢山の野菜やフルーツを使って作るフレッシュジュースやスムージーをはじめ、厳選された農園で栽培された豆を使用したスペシャルティーコーヒー、動物性食品や添加物を使わずに作った身体に優しいDELI、サンドイッチやスイーツと、豊富なラインナップが揃っています。毎日行っても楽しめますね。こだわり抜かれた食材と、笑顔いっぱいステキなスタッフさんのおかげで、心も体も元気になるパワースポットです！



左上：見た目にも鮮やかで、身体も元気に、そして食べごたえ十分な「ヘンプスムージーボウル」(1,600円)。ヘンプだけでなく、スーパーフードと呼ばれるビーポーレンやダイエットの強い味方であるチアシードなど、なかなか日常的に食べる機会のない食材もこのヘンプスムージーボウルで美味しく楽しむことができます。他にも「アサイースムージーボウル」「ロウカカオマカスムージーボウル」など色んなスムージーボウルあり！
左下：「ヘンプミルク」(620円)はヘンプシードナッツで作ったナッツミルクで、ヴィーガンの方にも、ヘンプシードが大きい2杯、ヘンププロテインは大きい1杯も入って栄養満点！！さらにデーツの甘さとバニラの風味で、とても飲みやすく美味しいドリンク。初めての方にもおススメ！



右下：マルゴですっかり定番の大人気甘酒マフィン！抹茶味のマフィンに、ヘンプシードが入ってとても濃くのある仕上りの「甘酒抹茶マフィンヘンプシード入り」(¥600)。砂糖を一切使用せず、甘さは「甘酒」だけ。自然で優しい甘さか、マルゴのマフィンの特徴です。またお抹茶は、愛知県西尾市の有機抹茶Aランクを使用。豊かな風味を楽しめます。マフィン通販サイトでも購入可能。



marugo deli ebisu

マルゴデリエビス

東京都渋谷区恵比寿西1-17-1ブルミエール恵比寿 1F-A

営業時間:月～土9:00～21:00、日・祝10:00～20:00

TEL:03-6427-8580 <http://www.maru5ebisu.jp/> ※価格は全て税込み

S ですから、そこでオリンピックという、日本の誰もがわかるスポーツ選手の代名詞のような場所を目指してみない？と私から提案しました。最初は「えっ」という反応で、でも私はまだ実力を伸ばせると信じているんです。現役の間に東京でオリンピックが開催される確率は非常に少ないし、38歳から東京オリンピックを目指すという姿もありなんじゃないかなと思って、頑張ってみない？と伝えてみました。

Y 清子がオリンピックを目指そうと言った時に、自分の中でいろいろと考えて保守的になっていました。今考えると自分の反応がすごく嫌で、なぜあんなに否定的になっていたのだろう、もともと自分の可能性を信じていいのと思いましたが、清子は、自分を強く信じてくれるし、私自身身目的に考えても可能性はあると思っています。

クロスカントリーは、個人の獲得する国際ポイントによってオリンピック枠が左右される競技で、個人の頑張りもすごく重要になるので、日本の枠を増やしてオリンピックにいくというのが当面の目標です。

S 私の夢はそれを支えることですね。私の直近の目標ですが、湘南国際マラソンのフルマラソンに再挑戦します。前回は4時間19分で完走だったので、今回は4時間を切って完走したいです。目標があると、そこに向けてのトレーニングや体の整え方を逆算的に計画がしやすいのでゴールを持つことは大切ですね。走るの楽しさも辛いので、少しでも体が楽になるように日々の生活リズムを見直して体調、体型、普段の食事にも気を使っています。フルタイムの仕事もしているので、バランスを大切にしながらチャレンジを楽しんでいきたいです。

ヘンプフーズでもお二人のご活躍を心より応援します！



© Salla

Profile

池田祐樹：

マウンテンバイクプロアスリート。TOPEAK・ERGONレーシングチームUSA所属。7年連続MTBマラソン世界選手権日本代表。海外の長距離レースを中心に活動中。

池田清子：

アスリートフード研究者。～史上最高の私をつくる～EAT GOOD for LIFE著者。株式会社ナノンマネジメント / ピオトープ株式会社 代表。

1日の食事スケジュール

- 朝 季節のフルーツとプロテインシェイク
- 昼 山盛りの10種類くらい含んだサラダと酵素発芽玄米と納豆とヘンプシードやナッツをかける。
- 夜 酵素発芽玄米、消化に優しいスープ、具沢山の味噌汁など腸が温まるもの

清子さん プロテインレシピ



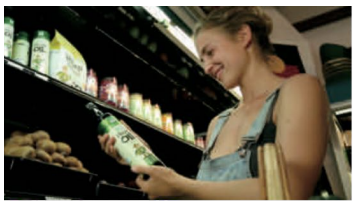
◎ ヘンププロテイン入りエナジーバー



◎ 手作りプロテイン
・ヘンププロテイン ・黒ごま ・きな粉
・よもぎ ・好みのフルーツ



◎ 朝食代わりのスムージー
・ヘンププロテイン ・甘酒 ・チアシード
・ブルーベリー ・バナナなど



sunday market, cafe, restaurant & more!

(ORGANIC MARKET)

バイロンベイでは、毎週フアーマーズマーケットや各週ごとに周辺の町でも日曜マーケットが開催され、新鮮なオーガニックや無農薬野菜もすぐに購入できるのも魅力的。新鮮な野菜を買って、自炊するのもバイロンベイの醍醐味のひとつ。それに街には多くのオーガニック食材を使用したカフェやレストランもあります。地元で育てられた野菜などをふんだんに使って料理されたものは、本当においしく、オーストラリア国内では小さな町に行けば、ミートパイやホットドックを出すお店がまだ多い中、世界中から人が訪れる分、多国籍でバイロンベイ独特の料理が味わえ、飲み物もオーガニックジュースをサーブしていたりと、オーガニック好きにはたまらない場所です。

それに、街を歩くことと気づくこと、それは裸足で歩くほどの率も他の町に比べても多し！砂浜だけでなく、スーパーや銀行の中までも、裸足です。街を歩いていると、裸足やビーチサンダル、楽チンなカジユアル靴が多く、ヒールで歩いていたら逆に目立ってしまい、むしろバイロンベイに来たら裸足になって街中を歩くのもオススメですよ。



our team's private & sprits

(OUR LIFE STYLE)

そのバイロンベイに工場があるHEMPFOODS AUSTRALIA社、働いている人たちも、この街の空気を感じ、休みの日にはサーフィンや登山を楽しんだり、仕事も大切、だけドライフスタイルの大切さも生活に取り入れながら生活しています。オーガニックタウンと言われるバイロンベイで、みんなチーム一丸となって、ただ高品質な商品を作るだけではなく、一人一人が自覚を持って毎日を送れるように、また環境をどうケアしながら生活

したらよいかをはじめ、1日のひと時ひと時を価値あるものにしていけるよう考えているメンバーです。

昨今ゴールドコーストのようにチェーン店が次々と建てられて、開発が進んできているバイロンベイですが、オルタナティブな価値観を持ったヒトはまだ多く、この街の人たちは自分たちのライフスタイルに自信を持ち、生活を楽しんでいきます。

ポジティブに物事を感じていれば、思い描くような人生を運んでくれるカラフルでユニークな町。訪れたら、きっと人生を豊かさへと導くヒントが見つかるかもしれません。



オーガニックや無農薬野菜を食し、裸足で歩く... 人生の豊かさを導くヒントが見つかるかもしれない街

バイロンベイ

sufin & alternative culture

(ORGANIC TOWN)

バイロンベイは、オーストラリアの最東端に位置する小さな街。街内人口は9000人ほど、郊外の町を含めてもわずか3万人と小さなビーチタウンです。ゴールドコーストからバスで約一時間半ほど南に下った場所に位置し、空港からやゴールドコーストの主要の場所からバスがでているので、意外と気軽に行くことができます。バイロンベイといえば、サーフィン、オルタナティブカルチャー、オーガニック食品などで知られ、オーストラリア国内でも、避暑地として人気が高く、数多くの国や都市を旅した旅人たちも、もう一度訪れたいと魅了する聖地でもあります。私もその中のひとりであり、初めて訪れたのが2005年、海と自然に溢れた町、そして出会う人々に刺激を受け、気づけばバイロンベイの虜になっていました。





こちらの放水機にて、お水をあげます。スケールが大きいです。



農家に技術指導している DAVE さん、カリフォルニア州の医療大麻栽培もされていた経験の持ち主で、10年以上のベテランです。



青々しい種子たちは、今年もので、これから洗浄、加工などされる。

戦後、70年近く栽培が禁止されてアメリカで、今このように大規模な栽培がされている事は、アメリカの素晴らしい開拓精神を感じると共に、ヘンプの食品としての可能性を感じました。それは、正に、新しいヘンプ産業の幕開けです、世界の先進諸国のリーダーであるアメリカで、ここまで広がっていることは、心強く感じます。

地球の麻栽培は、現在、100万エーカーに及ぶのではと言われております。世界の栽培地を日本に集めましたら、東京都と千葉県を足した大きさの畑になります。戦後多くの国にて栽培等が禁止され、ここ20年程で、ここまで広がりを見せているのは、まさに新しい時代の植物にふさわしいですね。

これからは、環境を守り、できる限り安心で安全であり、人口増加に対応できる未来食品を必要としていますので、美味しい果物がなるような肥沃な土地も必要のないヘンプは、これからも注目されてくると思います。是非、これからもヘンプを皆様で応援して頂けたらと願っております。



最近、アメリカに行くときよく目にするのが、ヘンプミルクです。ヘンプのミルク？少し不思議な感じですが、ヘンプの油脂とお水を混ぜることで、乳化されたミルクが作れるんですよ。もちろん SOY MILK というのは、豆乳のことですね、ALMOND MILK などもございますね。実際、牛乳と比べると、風味も味も軽く飲みやすいです。ただ、加工で様々な味の違いがあるので、自分好みのミルクを見つけるのに幾度か失敗することもあります。日本は、ヘンプの可能性で満ちていると思います。次回は、ヘンプと日本の歴史について、書かせていただこうと思います。LET'S ENJOY LIFE WITH HEMP !!

番外編

初めまして、ヘンプフーズの代表、松丸誠と申します。

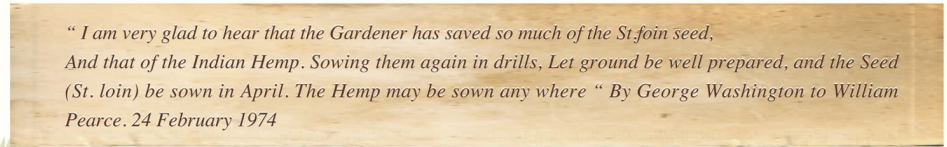
これからヘンプにまつわる最新の情報や、業界の人々でないとも知り得ない深い情報をお届けしたいと思えます。何卒、みなさま、どうかよろしく申し上げます。

私は、若い頃から海外への憧れが一歩高い男でして、海外生活も述べ20年以上にもなりました。海外に長く永住をしておりました。米国永住時に、友人から紹介されたヘンプという植物の可能性に魅力を感じ、海外永住をしながら様々なプロジェクトに関わらせていただきました。オーストラリアでは、幾つかのヘンプに関わるプロジェクトもさせて頂きました。

日本でも、お陰様で、ヘンプフーズのプロジェクトを立ち上げからですと、5年ほど務めさせていただきました。一重に、皆様のサポートのお陰で有難く続けていけております。ここで深く御礼を申し上げます。

是非ともこれを機会に、多くの皆様に、思い入れの強い熱い内容だけに留まらず、様々な視点でヘンプを捉えた内容にできるような心がけますので、ご家族やお友達ともシェアして頂けたら幸いです。一つだけ、確認させていただきますと、ヘンプ=大麻=麻薬ではございません。ヘンプ=産業大麻であり、麻薬とされる品種とは異なること、ご理解頂ければと思います。

今回は、先月、コロラド州の大麻畑に行った際の事を書かせて頂こうと思えます。アメリカの産業大麻の歴史というのは、アメリカ建国の歴史にも深く関わっているのは、皆様、ご存知でしょうか？初代大統領、ジョージワシントンは、産業大麻推進をされておりました。



これを読む限り、明らかに、アメリカ大陸にインド大麻を植えたい思いが伝わります。そして、ロープや繊維、燃料、薬、食品、そして、車のパーツにまでも使われたヘンプ黄金期が生まれます。ただ、1930年にヘンプは、化学会社の強力なロビー活動により、産業大麻=麻薬という誤解から、危険な植物とされ栽培を禁止されてしまいます。しかし、第二次世界大戦時は、自国の資源を増やす必要があり、大麻栽培を再開させていきます。

話は少しそれますが、私は、1930年代のアメリカと現代のアメリカに類似点があるのではと思います。現代との類似性は、またお話をしたいと思います。1940年代、戦争が終結した後に、再び栽培禁止にした事があり、そこから70年間近くアメリカでは、産業大麻の栽培は禁止されておりました。2014年8月に、遂に、産業大麻に可能性を見出していた協会等のロビー活動で、アメリカでは、再度、産業大麻栽培が公に認められる事となりました。

現在2017年は、3年目の収穫となる夏、コロラド州最大の農家コミュニティー経営をされている方々を訪問させていただきました。



一面に広がる大麻畑は、青々しく育っております。

